



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水水門他改修実施設計業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名 後川下流福岡開港施設構造能保全事業
業務名 排水水門修復検査試験業務

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業					
業務名	排水水門他改修実施設計業務					
業務別業務名:業務積算(設計)						
コード	名 称(規 格)	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
S63003	*** S 单 - 1号 *** 現地調査 設計労務(直接人件費内業)		式	1,690,000		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 2号 *** 資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	1,247,500		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 3号 *** 排水桶門 機側操作盤の設計 設計労務(直接人件費内業)		式	267,500		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 4号 *** 排水桶門 設計図・数量計算・特別仕様書(案)作成 設計労務(直接人件費内業)		式	454,300		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 5号 *** 排水路(制水門・合流工)整備内容の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	1,052,300		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 6号 *** 排水路(制水門・合流工)設計図作成及び数量計算 設計労務(直接人件費内業)		式	1,070,900		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 7号 *** 排水路(制水門・合流工)仮設計画の検討 現地整備 設計労務(直接人件費内業)		式	321,000		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 8号 *** 制水門開閉機の電動化検討 施設構造の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	794,500		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 9号 *** 制水門開閉機の電動化検討 概算工事費の算定 設計労務(直接人件費内業)		式	144,100		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 10号 *** 制水門付帯設備の設計 転倒ゲート開度計目盛盤整備 設計労務(直接人件費内業)		式	142,600		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 11号 *** 制水門付帯設備の設計 階段施設の整備 設計労務(直接人件費内業)		式	456,400		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 12号 *** 照査 設計労務(直接人件費内業)		式	228,600		歩A・単A
S63003	*** S 单 - 13号 *** 点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	728,600		歩A・単A
S63007	*** S 单 - 14号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費内業)		式	84,500		歩A・単A
S63010	*** S 单 - 15号 *** 打合せ(設計業務基準日額)着手前 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.32日	回	99,876			歩A・単A
S63010	*** S 单 - 16号 *** 打合せ(設計業務基準日額)中間 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.32日	回	85,444			歩A・単A
S63011	*** S 单 - 17号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)	回	4,544			歩A・単A
S63011	*** S 单 - 18号 *** 打合せ(設計旅費・交通費) 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)	回	4,544			歩A・単A
S63017	*** S 单 - 19号 *** 旅費交通費(設計外業宿泊用) 旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地,ライトバン,0.50日,1日,2時間,なし,100km L (100km以上)	式	366,539			歩A・単A
S63023	*** S 单 - 20号 *** 電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1, A - 4,500,5cm,0	式	7,341			歩A・単A

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業

業務名 排水水門他改修実施設計業務

業務別業務名:業務積算(設計)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S 単 - 1号 ***					
S63003	現地調査		式		1,000	歩A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	10.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	10.000	人	64,800	648,000	
R04004	技師(A)	10.000	人	57,000	570,000	
R04005	技師(B)	10.000	人	47,200	472,000	
	合 計		式		1,690,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,690,000	
	*** S 単 - 2号 ***					
S63003	資料の検討		式		1,000	歩A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	7.50人				
	5)技師Bの人数	7.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	1.50人				
R04003	主任技師	5.000	人	64,800	324,000	
R04004	技師(A)	7.500	人	57,000	427,500	
R04005	技師(B)	7.000	人	47,200	330,400	
R04006	技師(C)	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	1.500	人	33,600	50,400	
	合 計		式		1,247,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,247,500	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63003	排水樋門 機側操作盤の設計		式		1,000	歩A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A)	1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員	0.500	人	33,600	16,800	
	合 計		式		267,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		267,500	

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業					
業務名	排水水門他改修実施設計業務					
業務別業務名:業務積算(設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S 単 - 4号 ***					
S63003	排水樋門 設計図・数量計算・特別仕様書(案)作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の人数	0.00人 0.00人 0.50人 1.50人 2.50人 3.50人 2.50人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亞熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A)	1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師(B)	2.500	人	47,200	118,000	
R04006	技師(C)	3.500	人	38,400	134,400	
R04007	技術員	2.500	人	33,600	84,000	
	合 計				454,300	1.000 式 算出数量
	単 価		式		454,300	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	排水路(制水門・合流工)整備内容の検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の人数	0.00人 0.00人 2.50人 5.50人 8.00人 3.00人 2.50人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亞熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	2.500	人	64,800	162,000	
R04004	技師(A)	5.500	人	57,000	313,500	
R04005	技師(B)	8.000	人	47,200	377,600	
R04006	技師(C)	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	2.500	人	33,600	84,000	
	合 計				1,052,300	1.000 式 算出数量
	単 価		式		1,052,300	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63003	排水路(制水門・合流工)設計図作成及び数量計算 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の人数	0.00人 0.00人 1.50人 2.50人 5.00人 8.50人 8.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亞熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.500	人	64,800	97,200	
R04004	技師(A)	2.500	人	57,000	142,500	
R04005	技師(B)	5.000	人	47,200	236,000	
R04006	技師(C)	8.500	人	38,400	326,400	
R04007	技術員	8.000	人	33,600	268,800	
	合 計				1,070,900	1.000 式 算出数量

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業

業務名 排水水門他改修実施設計業務

業務別業務名:業務積算(設計)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単価		式		1,070,900	
	*** S 单 - 7号 ***					
S63003	排水路(制水門・合流工)仮設計画の検討 現地整備		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.50人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	1.500	人	47,200	70,800	
R04006	技師(C)	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	2.500	人	33,600	84,000	
	合計				321,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		321,000	
	*** S 单 - 8号 ***					
S63003	制水門開閉機の電動化検討 施設構造の検討		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	2.500	人	57,000	142,500	
R04005	技師(B)	4.000	人	47,200	188,800	
R04006	技師(C)	6.000	人	38,400	230,400	
R04007	技術員	5.000	人	33,600	168,000	
	合計				794,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		794,500	
	*** S 单 - 9号 ***					
S63003	制水門開閉機の電動化検討 概算工事費の算定		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A)	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師(B)	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師(C)	0.500	人	38,400	19,200	

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業					
業務名	排水水門他改修実施設計業務					
業務別業務名:業務積算(設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04007	技術員	0.500	人	33,600	16,800	
	合 計				144,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		144,100	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63003	制水門付帯設備の設計 転倒ゲート開度計目盛盤整備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師(C)	1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				142,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		142,600	
	*** S 単 - 11号 ***					
S63003	制水門付帯設備の設計 階段施設の整備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師(A)	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師(B)	4.000	人	47,200	188,800	
R04006	技師(C)	4.000	人	38,400	153,600	
	合 計				456,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		456,400	
	*** S 単 - 12号 ***					
S63003	照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	1.500	人	47,200	70,800	
R04006	技師(C)	0.500	人	38,400	19,200	
R04007	技術員	0.500	人	33,600	16,800	
	合 計				228,600	算出数量 1.000 式

事業名 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業

業務名 排水水門他改修実施設計業務

業務別業務名:業務積算(設計)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		228,600	
	*** S 単 - 13号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	5.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師(A)	3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師(B)	5.000	人	47,200	236,000	
R04006	技師(C)	5.000	人	38,400	192,000	
	合 計				728,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		728,600	
	*** S 単 - 14号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師(B) 外業	0.500	人	47,200	23,600	
	合 計				84,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		84,500	
	*** S 単 - 15号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)着手前		回		1,000	歩A 回当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	一般工種、着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.32			冬期補正:なし		
	日			豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	2)打合せ	着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.320日				
R04003	主任技師	0.820	人	64,800	53,136	
R04004	技師(A)	0.820	人	57,000	46,740	
	合 計				99,876	算出数量 1.000 回
	単 価		回		99,876	
	*** S 単 - 16号 ***					

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業					
業務名	排水水門他改修実施設計業務					
業務別業務名:業務積算(設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63010	打合せ(設計業務基準日額)中間		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.32日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	0.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	1.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.320日				
R04004	技師(A)	0.820	人	57,000	46,740	
R04005	技師(B)	0.820	人	47,200	38,704	
	合計				85,444	1.000回 算出数量
	単価		回		85,444	
	*** S 単 - 17号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	00km L (100km以上)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容 3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	一般工種 着手前・最終 1人 1人 0人 0人		深夜時間:0.0		
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.00日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別) 14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円 1,963円				
	15)バス往復1人当料金(税別) 16)船舶往復1人当料金(税別)	309円 0円				
	17)航空往復1人当料金(税別) 18)ライトバン使用日数	0円 0日				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き		2.000	人	1,963	3,926
P54307	バス料金 消費税抜き		2.000	人	309	618
	合計				4,544	1.000回 算出数量
	単価		回		4,544	
	*** S 単 - 18号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容 3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	一般工種 中間 0人 1人 1人 0人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.00日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別) 14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円 1,963円				
	15)バス往復1人当料金(税別) 16)船舶往復1人当料金(税別)	309円 0円				
	17)航空往復1人当料金(税別) 18)ライトバン使用日数	0円 0日				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き		2.000	人	1,963	3,926

事業名	筑後川下流福岡国営施設機能保全事業					
業務名	排水水門他改修実施設計業務					
業務別業務名:業務積算(設計)						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	309	618	
	合 計				4,544	算出数量 1.000 回
	单 価		回		4,544	
	*** S 单 - 19号 ***					
S63017	旅費交通費(設計外業宿泊用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) 乙地、ライトバン、0.50日、1日、2時間、なし、100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)宿泊地 2)交通機関区分	乙地 ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金(税別) 4)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	3,326円 0円		深夜時間:0.0		
	5)バス往復料金[全員分合算](税別) 6)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円 0円				
	7)航空往復料金[全員分合算](税別) 8)往復移動日数	0円 0.50日				
	9)ライトバン使用日数 10)時間区分	1日 2時間				
	11)補正区分 12)技師長外業日数	なし 0.000日				
	13)主任技師外業日数 14)技師A外業日数	14,000日 14,000日				
	15)技師B外業日数 16)技師C外業日数	14,000日 0.000日				
	17)技術員外業日数 18)往復移動距離区分	0.000日 100km L(100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当 消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師(B)日当 消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地)消費税抜き(7級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師(B)宿泊費 (乙地)消費税抜き(4級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	13.000	人	8,354	108,602	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	13.000	人	8,354	108,602	
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	13.000	人	8,354	108,602	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	3,326	3,326	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名、排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	5.400	L	157	848	
	合 計				366,539	算出数量 1.000 式
	单 価		式		366,539	
	*** S 单 - 20号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4 ,500,5cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)報告書部数(部) 2)規格区分	1.000 A - 4		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚) 4)厚さ区分	500 5cm		深夜時間:0.0		
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代(コピ-) A - 4 以下 5 0 0 枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43542	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅5cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	591	591	
P43602	C D - R C D - R(記録面色素フタロシアニン)7 0 0 MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				7,341	算出数量 1.000 式
	单 価		式		7,341	

令和6年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業
排水水門他改修実施設計業務

特 別 仕 様 書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1－1条

令和6年度 筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 排水水門他改修実施設計業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1－2条

本業務は、筑後川下流福岡国営施設機能保全事業の工事実施に利用するため、排水水門等の改修に必要な実施設計を行うものである。

(場所)

第1－3条

本業務において対象とする改修施設の位置は、福岡県久留米市、柳川市、筑後市、大川市、三潴郡大木町地内で別添位置図に示すとおりである。

(土地の立入り等)

第1－4条

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(低入札価格契約における第三者照査)

第1－5条

1 予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書第1-7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。

2 第三者照査の企業に要求される資格

（1）予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。

（2）九州農政局において、5・6年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。

（3）九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。

（4）共通仕様書第1-30条守秘義務を遵守できること。

（5）中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

ア 資本関係

（ア）親会社と子会社の関係にある

(イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある

イ 人的関係

(ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

○ 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者

○ 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第4-1条業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者のAGRIS登録

共通仕様書第1-12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス(AGRIS)の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第41条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-6条

本業務の受注にあたり、予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

(1) 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合

(2) 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合

(3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合

(4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1－7条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(管理技術者)

第1－8条

- 1 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選 �chio 科 目
技術士	総合技術監理	建設－鋼構造及びコンクリート 電気電子－電気設備 農業－農業農村工学 農業－農業土木
	電気電子	電気設備
	建設	鋼構造及びコンクリート
	農業	農業農村工学、農業土木
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャー	鋼構造及びコンクリート	
	電気電子	
	農業土木	

(照査技術者)

第1－9条

- 1 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選 抌 科 目
技術士	総合技術監理	建設－鋼構造及びコンクリート 電気電子－電気設備 農業－農業農村工学 農業－農業土木
	電気電子	電気設備
	建設	鋼構造及びコンクリート
	農業	農業農村工学、農業土木
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティング マネージャー	鋼構造及びコンクリート	
	電気電子	
	農業土木	

- 2 共通仕様書第1-7条第4項でいう監督職員が指示する業務の節目とは次のとおりとする。
- (1) 業務計画作成時
 - (2) 基本条件の整理時
 - (3) 整備内容及び詳細条件の決定時
 - (4) 設計図作成及び概算工事費算定時
 - (5) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合
- 3 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第1－10条

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－11条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1－12条

受注者は、共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2－1条

設計の基本的事項に関しては、次の技術基準等を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発行所	制定（改訂）年月
1	土地改良事業計画設計基準「水路工」	(社)農業農村工学会	平成26年3月
2	鋼構造物計画設計技術指針（水門扉編）	(社)農業土木事業協会	平成21年3月
3	電気設備計画設計技術指針（高低圧編）	(一社)農業土木機械化協会	令和元年9月

(作業条件)

第2－2条

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。

(対象施設)

第2－3条

本業務で実施する実施設計の対象施設は別紙2及び別紙3の「対象施設一覧」による。

(参考図書)

第2－4条

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発行所	制定(改訂)年月
1	水門鉄管技術基準	(社)電力土木技術協会	平成31年3月
2	ダム・堰施設技術基準	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成28年3月
3	水門樋門ゲート設計要領(案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成13年12月
4	ゲート用開閉装置(機械式)設計要領(案)	(一社)ダム・堰施設技術協会	平成12年8月

(貸与資料)

第2－5条

貸与資料は、次のとおりである。

分 類	資 料 名	数 量
現況関係資料	国営筑後川下流土地改良事業 施設管理図	1式
計画関係資料	施設の長寿命化に関する計画(筑後川下流福岡地区)	1式
その他	平成23年度 国営施設機能保全事業 筑後川下流地区(福岡)施設長寿命化計画策定その他業務 報告書	1式
その他	平成27年度 広域基盤整備計画調査 筑後川地域広域基盤整備計画検討業務 報告書	1式
その他	令和3度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 筑後川下流福岡地区施設整備計画検討その他業務 報告書	1式
その他	令和4年度筑後川下流福岡国営施設機能保全事業 合流工施設整備計画検討業務 報告書	1式

また、上記以外で必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2－6条

第2－4条、第2－5条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考資料及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い、設計作業中に改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

第3章 設計作業内容

(作業項目及び数量)

第3－1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1「作業項目内訳表」のとおりである。

作業項目表

作業項目	数量	備考
1. 現地調査	1式	別紙1「作業項目内訳表」
2. 資料の検討	1式	別紙2及び別紙3「対象施設一覧」
3. 排水樋門の整備		
3-1 機側操作盤の設計	1式	
3-2 設計図・数量計算・特別仕様書 (案)の作成	1式	
4. 排水路(制水門・合流工)の整備		
4-1 整備内容の検討	1式	
4-2 設計図作成及び数量計算	1式	
4-3 仮設計画の検討(現地整備)	1式	
5. 制水門開閉機の電動化検討		
5-1 施設構造の検討	1式	
5-2 概算工事費の算定	1式	
6. 制水門付帯設備の設計		
6-1 転倒ゲートの開度計(目盛盤)の 整備	1式	
6-2 階段施設の整備	1式	
7. 照査	1式	
8. 点検取りまとめ	1式	

(設計作業の留意点)

第3－2条

設計作業の実施に際し、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 設計に当たっては、改修される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (2) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (3) 第2-3条、第2-4条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (4) 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- (5) 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
 - ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、<https://www.nntechinfo.jp> を参照。
 - ・新技術情報システム（NETIS）は<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。
- (6) 数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。
なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。
 - ・「工事工種の体系化」はhttps://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/を参照。
- (7) 対象施設、関連施設及び設備が機能診断を完了している場合は、同成果の内容を確認するとともに十分に活用し効率的な作業を行う。
- (8) 共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。

（業務の成果品質確保対策）

第3-3条

契約後業務着手時並びに最終打合せ時において、受発注者間の設計方針、条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、管理技術者等の受注者代表は、次の事項並びに「業務の成果品質確保対策」（農水省WEBサイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

（1）業務確認会議

業務着手時に、管理技術者・担当技術者並びに事務所長、次長、建設所長、担当課長、主任監督員（主催）が、設計方針、条件等の確認を一堂に会して実施することにより、業務の円滑な推進と成果物の品質確保を図るものとする。

ア 業務確認会議とは、発注者及び受注者が集まり、次の事項について確認を行う会議を開催するものである。なお、確認事項については変更する場合がある。

- ①設計条件・前提条件
- ②業務計画の妥当性
- ③スケジュール
- ④設計変更内容

イ 会議の開催については、監督員が指示するものとする。なお、開催時期の変更、開催回数の追加が必要な場合は、監督員と協議するものとし、規定の打合せ時以外に開催する

場合の費用については、必要に応じ設計変更で計上する。

(2) 合同現地踏査

合同現地踏査が必要な場合には、監督職員と協議するものとし、開催する場合の費用については必要に応じ設計変更で計上する。

(3) 照査の確実な実施

業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外にあっても、必要に応じて、照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

(4) 当該業務成果による工事発注の際に、別途工事の受発注者が当該工事に対する「工事の施工効率向上対策」（農水省 WEB サイト）による工事円滑化会議及び設計変更確認会議を開催することとしており、同会議に出席要請があった場合には応じるものとする。なお、出席に必要な経費については、別途契約により対応することとする。

(5) 業務確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。

(業務写真における黒板情報の電子化について)

第3－4条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。

黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL 「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならぬ。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像とし同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案） 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、間接調査費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4－1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初回 設計作業着手の段階

第2回 中間打合せ(基本条件整理段階)

第3回 中間打合せ(整備内容決定及び設計段階)

第4回 中間打合せ(設計図作成及び概算工事費算定段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5－1条

成果物を共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体(CD-R若しくはDVD-R) 正副2部
2. 成果物の出力 1部(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

(成果物の提出先)

第5－2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県柳川市三橋町正行431

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 筑後川下流福岡農業水利事業建設所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6－1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第2-3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。
- (3) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (4) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (5) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (6) 履行期間の変更が生じた場合。
- (7) 関係機関等対外協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (8) その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7－1条

この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	数量	備考
1. 現地調査	位置図に示す施設について、実施設計に必要な現地調査を行う。	1式	
2. 資料の検討	実施設計のための資料収集及び参考資料の内容を把握する。	1式	
3. 排水樋門の整備	排水樋門の機側操作盤の更新に必要な設計及び図面等の作成を行う。 【設計対象】4箇所 (昭代3号線排水樋門：川表・川裏、昭代5号線排水樋門：川表・川裏)		
3-1 機側操作盤の設計	過年度業務で実施した健全度評価結果を踏まえ、排水樋門の機側操作盤の更新に必要な設計を行う。	1式	
3-2 設計図・数量計算・特別仕様書（案）の作成	設計図（全体平面図、全体一般図、詳細構造図、仮設計画図、機側操作盤外形図、機側操作盤単線結線図）、数量計算、特別仕様書（案）の作成を行う。	1式	
4. 排水路（制水門・合流工）の整備	排水路改修の現地整備にあたり扉体整備の内容及び仮設計画の検討を行い、設計図（仮設計画図を含む）の作成、数量計算を行う。 【設計対象】別紙2「対象施設一覧」のとおり。		
4-1 整備内容の検討	過年度業務で実施した健全度評価結果及び整備方針を踏まえ、扉体整備の内容（水密ゴム・吊り金具・ラック棒の交換、ローラ整備、塗装塗替）を決定する。 【設計対象】別紙2「対象施設一覧」のとおり。	1式	
4-2 設計図作成及び数量計算	扉体整備に必要な図面を作成し、数量計算を行う。なお、図面作成にあたっては、施設管理図からトレースを行うものとする。 【設計対象】制水門：16箇所、合流工：3タイプ	1式	
4-3 仮設計画の検討（現地整備）	現地で扉体整備を行う際の施工手順及び仮設計画の検討を行い、扉体整備に必要な仮設計画図（標準図）を作成する。また、標準図を基に対象施設の仮設足場等の数量計算を行う。 【設計対象】制水門：1タイプ、合流工：1タイプ	1式	
5. 制水門開閉機の電動化検討	制水門の改修にあたり、開閉機の駆動方式をエンジン式からモータ式に変更（電動化）を行う際の基本設計及び概算工事費の算定を行う。 【設計対象】対象施設は別紙3「対象施設一覧」のとおりであり、各作業において2ケース（①開閉機の全面更新、②既存施設を活用した補助機械の導入）の検討を行う。		
5-1 施設構造の検討	駆動方式変更に伴う開閉機の構造（機側操作盤含む）について基本設計を行うとともに、躯体コンクリート構造の安全性について検証を行う。	1式	
5-2 概算工事費の算定	開閉機の電動化について、概算工事費を算定する。	1式	
6. 制水門付帯設備の設計	付帯施設の構造について設計を行い、概算工事費を算定する。		
6-1 転倒ゲートの開度計（目盛盤）の整備	開度計未設置の転倒ゲートにおいて、ゲート開度の目視確認が可能となる整備（水路側壁に目盛板設置を想定）にかかる概算工事費の算定を行う。 【設計対象】制水門3箇所 (西浜武線：枝光制水門、下久末線：6号制水門・7号制水門)	1式	
6-2 階段施設の整備	制水門の既設鋼製階段の構造変更（踊り場の新設）及び配置変更（左岸から右岸：既設利用）に伴う設計及び概算工事費の算定を行う。 【設計対象】 構造変更1箇所（田川城島1号線：1号制水門） 配置変更1箇所（昭代7号線：新田北3号）	1式	
7. 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1式	
8. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	1式	

【対象施設一覧】

4. 排水路(制水門・合流工)の整備

○制水門

番号	路線名	施設名	ゲート規格 B × H	門数	ゲート形式	扉体整備				作業項目 4-3 1タイプ
						水密 ゴム	吊り 金具	ラック 棒	塗装	
1	大溝線	2号制水門	5.0 × 2.3	2 門	鋼製ローラーゲート+転倒ゲート	2	2	2	2	
2	大溝線	6-1号制水門	5.0 × 3.5	1 門	鋼製ローラーゲート(二段扉)				1	
3	大溝線	7号制水門	5.0 × 3.5	1 門	鋼製ローラーゲート(二段扉)			1		1
4	大溝線	西の後末端制水門	3.5 × 3.0	2 門	鋼製ローラーゲート(单扉、二段扉)	1			2	
5	中木室1号線	1号制水門	6.0 × 3.5	1 門	鋼製ローラーゲート(二段扉)			1		
6	中木室1号線	2号制水門	6.0 × 3.5	1 門	鋼製ローラーゲート(二段扉)			1		
7	中木室1号線	6号制水門	5.0 × 3.5	2 門	鋼製ローラーゲート(单扉、二段扉)				1	○
8	中木室1号線	7号制水門	5.0 × 3.5	2 門	鋼製ローラーゲート(单扉、二段扉)				1	
9	西浜武線	東蒲池制水門	6.0 × 3.5	3 門	鋼製ローラーゲート(单扉、二段扉)	1				
10	西浜武線	大莞2号制水門	5.0 × 2.3	3 門	鋼製ローラーゲート+転倒ゲート			3		
11	西浜武線	下妻2号制水門	5.0 × 1.8	2 門	鋼製ローラーゲート+転倒ゲート			2		2
12	西浜武線	下妻1号制水門	5.0 × 1.8	2 門	鋼製ローラーゲート+転倒ゲート			2		2
13	岩神線	塙塚川排水樋門	2.5 × 1.6	3 門	鋼製ローラーゲート	1				
14	岩神線	57-1暗渠工	3.8 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート+転倒ゲート			1		
15	岩神線	3号暗渠工	2.5 × 1.8	1 門	鋼製スライドゲート+転倒ゲート				1	
16	岩神線	1号暗渠工	3.0 × 2.3	1 門	鋼製ローラーゲート+転倒ゲート				1	

○合流工

番号	路線名	施設名	ゲート規格 B × H	門数	ゲート形式	扉体整備				作業項目 4-2 3タイプ	作業項目 4-3 1タイプ
						水密 ゴム	吊り 金具	ラック 棒	塗装		
1	田川城島4号線	11号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート				1		○ ○
2	田川城島4号線	20号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート			1			
3	田川城島4号線	32号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート			1			
4	田川城島4号線	44号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート			1			
5	田川城島4号線	52号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート	1					
6	中木室1号線	6号合流工	1.8 × 1.9	1 門	スライドゲート	1					
7	中木室1号線	7号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート	1	1				
8	中木室1号線	8号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート		1				
9	中木室1号線	25号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート			1			
10	中木室1号線	46号合流工	1.0 × 0.8	1 門	スライドゲート			1			
11	中木室1号線	52号合流工	1.5 × 1.0	1 門	スライドゲート			1			
12	中木室1号線	53号合流工	1.5 × 1.5	1 門	スライドゲート			1			○
13	中木室1号線	55号合流工	2.0 × 2.5	1 門	鋼製ローラゲート			1			
14	中木室1号線	58号合流工	1.0 × 1.0	1 門	スライドゲート			1			
15	中木室1号線	64号合流工	1.0 × 0.8	1 門	スライドゲート			1			
16	中木室1号線	65号合流工	1.2 × 1.2	1 門	スライドゲート			1			
17	中木室1号線	73号合流工	1.2 × 1.2	1 門	鋼製スライドゲート			1			
18	中木室2号線	5号合流工	1.2 × 1.2	1 門	鋼製スライドゲート			1			
19	中木室2号線	28号合流工	1.4 × 1.4	1 門	鋼製スライドゲート			1			
20	中木室3号線	16号合流工	2.3 × 2.3	1 門	鋼製スライドゲート			1			
21	昭代1号線	3号合流工	1.0 × 1.0	1 門	スライドゲート			1			
22	昭代1号線	4号合流工	1.0 × 1.0	1 門	スライドゲート			1			
23	昭代1号線	7号合流工	0.8 × 0.8	1 門	スライドゲート			1			
24	昭代1号線	36号合流工	1.6 × 1.6	1 門	鋼製スライドゲート			1			
25	昭代1-1号線	20号合流工	1.8 × 1.8	1 門	スライドゲート			1			
26	昭代1-1号線	38号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート			1			
27	昭代1-1号線	40号合流工	2.0 × 1.8	1 門	鋼製スライドゲート			1			
28	昭代1-1号線	42号合流工	1.2 × 0.9	1 門	スライドゲート			1			
29	昭代2号線	37号合流工	1.0 × 0.8	1 門	スライドゲート			1			
30	昭代2号線	39号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート			1			
31	昭代3号線	5号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート	1					
32	昭代3号線	39号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート			1			
33	昭代4号線	1号合流工	1.0 × 1.3	1 門	プレートガーダ構造スライドゲート	1					
34	昭代6号線	21号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート	1	1	1	1		
35	西浜武線	19号合流工	1.0 × 0.8	1 門	鋼製スライドゲート				1		
36	西浜武線	20号合流工	2.3 × 3.4	1 門	鋼製スライドゲート			1			○
37	西浜武線	23号合流工	2.0 × 1.3	1 門	鋼製スライドゲート				1		
38	西浜武線	42号合流工	1.0 × 0.8	1 門	プレートガーダ構造スライドゲート	1					
39	西浜武線	70号合流工	2.0 × 2.3	1 門	鋼製ローラゲート				1		
40	西浜武線	78号合流工	2.0 × 1.2	1 門	鋼製スライドゲート	1					

【対象施設一覧】

5. 制水門開閉機の電動化検討

種 別	門 数	規 格 (B×H、吊り能力)	製造メーカー	全面 更新	補助 機械	備 考
制水門 (Aタイプ)	1 門 (二段扉 1 門)	4.5m×2.5m、80KN	開成工業(株)	—	○	西浜武線 南浜武 1 号制水門
〃	1 門 (二段扉 1 門)	6.0m×3.5m、100KN	西田鉄工(株)	○	○	大溝線 4 号制水門
制水門 (Bタイプ)	2 門 (单扉 1 門、二段扉 1 門)	3.0m×2.5m、60KN	(株)ミヅタ	○	○	昭代 4 号線 4 号制水門
〃	2 門 (单扉 1 門、二段扉 1 門)	5.0m×3.0m、80KN	豊国工業(株)	—	○	昭代 1 号線 3 号制水門
制水門 (Cタイプ)	3 門 (单扉 2 門、二段扉 1 門)	6.0m×3.5m、100KN	西田鉄工(株)	○	○	西浜武線 東蒲池上流制水門

※全面更新及び補助機械欄の「○」は作業対象を示す。